

学校運営協議会の運営を応援します

～人と人とのつながりづくり・地域づくりを進めます～

【第2回学校運営協議会ファシリテーター応援講座】

10月17日（火）、学校運営協議会の会長や副会長、学校で運営を担当する教頭先生や地域連携教員計19名の参加を得て、①委員と教職員のつながりづくりと②今後の学校運営協議会のテーマ(例)、③形骸化した会議にならないような工夫を内容とした講座を開催しました。

【委員と教職員のつながりづくりをねらいに模擬協議会を実施】 進行は会長、説明は教頭

1. 会長あいさつ（本日の会のねらいについて）
2. 校長あいさつ（エピソードを入れたあいさつ）
3. アイスブレイク（後出しじゃんけん：あいこ→勝つ→負ける）
4. 自己紹介（所属、名前、最近食べておいしかったもの、最近うれしかったこと）
5. 学校運営協議会制度と地域学校協働活動の内容についてリーフレットで確認
6. 協議：「わが学校とわが地域の未来の姿、10年後について考えましょう」
7. ふりかえり（印象に残ったこと、得たこと、わかったこと、やってみたいこと）

校長あいさつでは、運動会協力のお礼と校長先生が子どもの頃の運動会の思い出、そしてこの日の協議会への願い（教職員と委員が顔見知りになる）について話がありました。

和やかに会がスタートしました



▲校長あいさつ



▲学校と地域の未来についての話し合い（付箋紙を使い、それぞれの思いを共有）

🌸 ～ 参加者の感想より ～ 🌸

- 教員と委員が同じテーブルを囲むことの大切さがわかりました。それぞれの立場で感じ、考えている視点が異なり、その意見の交流が新しい関係を生み出す化学反応になるのだと思った。
- 立場の異なる委員さんといろいろな話をするのができ、真剣に話し合うことが新しい発見や考えを生み、今後の取り組みに対し意欲を持つことができた。
- アイスブレイクや自己紹介で場の雰囲気や和らげることで、意見がだしやすくなるのだとつくづく感じました。
- 形骸化した会議にならないようにするためにはどうしたらいいか、様々な視点を与えていただいたので、大変参考になりました。

貴重なご意見、ありがとうございました



🍎 学校運営協議会をさらに楽しく、有意義な会に 🍎

学校運営協議会が形骸化した会議にならないよう、次の点に留意しながら運営しましょう。

① わらいや内容を一緒に考え、準備・後片付けも一緒にやりましょう

「学校を核とした地域づくり」のためにやっているという目的意識をもち、学校と委員双方が同じ方向を向き進むことは、とても大切です。運営全てを学校に任せるのではなく、協議会のわらいや内容、役割分担等は、学校と会長、副会長さん等がいっしょに考えましょう。また、当日の準備や後片付けも一緒にやりましょう。

② 発言しやすい会場づくりをしましょう。

大きな口の字型、講義型だけでなく、4～5名程の小グループでじっくり話ができる環境をつくりましょう。

③ 自己紹介、近況報告は貴重な機会

人と人がつながるための一つの方法は、「しゃべる（話をする）」です。自己紹介や近況報告は無駄な時間ではなく、お互いをさらに知る貴重な機会です。

④ 誰もが話をする事ができる会に

校長先生ばかりが話をする、委員長さんばかりが話をするなんてことはないでしょうか。参加者全員が話をする事ができる会になるよう、進行者は配慮しましょう。

⑤ 全体に対し「何かありますか？」という質問に注意。

この質問に対し、手を挙げて答えられる方は何人いるでしょうか。思わず参加者が下を向き、沈黙なんて光景を目にします。「〇〇〇〇について、感想や意見、疑問、質問などをグループでお話してください」と、ふっともらえると話しやすいですね。

⑥ 授業や学校行事を参観した後の話し合いの時間が実は大切

参観いただいた後、感じたことや意見、疑問、質問など話をする時間を設けていますか。参観後の話し合いの時間が、実はとても重要な時間です。

⑦ じっくり話をする時間をとみましょう。

「10分で本校がめざす子ども像について話してください」と言われても、、、などということはないでしょうか。まずは自分で考える時間、グループで話をする時間、そのグループで考えた考えを全体で共有する時間を含め、余裕をもった時間設定をしましょう。

⑧ 「ふりかえり」をやらないのはもったいない

「今日の協議会がどうだったか？」感想や分かったこと、得たことなどのふりかえりをやらずに終了してしまうのは、実にもったいないです。ふりかえりは、運営者側、参加者側双方にとって、得ることが「大」です。短い時間でできる、フラッシュふりかえりという方法もあります。



今年も「芋煮会」がで・き・ま・し・た！

～湯西川小中学校 10月27日(金)～

「総合的な学習の時間（地域連携推進事業）」

【目標】

- 地域の方々との触れ合いを通してさらに親睦を深め、将来にわたって地域に貢献し、関わっていこうとする心情を高める。
- 活動を通して、郷土の自然のすばらしさを体感し、湯西川に生まれ育ったことに誇りをもてる児童生徒を育成する。
- 協力し合って活動することを通して、児童生徒の仲間意識を育てる。

【参加者】児童生徒・職員・学校運営協議会委員・漁業組合の方・地域の方

【会場】安ヶ森キャンプ場

【内容検討の場】第1回(5月)と第2回(7月)の学校運営協議会で検討

【食材】里芋（学校農園で収穫したもの）、さつまいも（幼保小交流で収穫したもの）、マス（財産区より提供）



▲芋汁に豆腐投入



▲自分たちがさばいたマスが焼けたよ



▲ホクホク焼きいも「最高」

【学校運営協議会会長さんの感想】

- ・昨年度よりも子ども達が自分の係の仕事に自信をもち、取り組んでくれました。そんな子ども達の成長を見ることができ、とてもうれしかったです。

【学校の感想】

- ・学校運営協議会や地域の皆さん、漁業組合の皆さんのおかげで、今年も無事に開催することができました。湯西川のすばらしさを改めて実感しました。

【子どもの感想】

- ・去年の芋煮会よりも今年の芋煮会の方が地域の方々が多く、たくさん交流ができました。楽しく活動することができ、ステキな時間を過ごすことができました。

発行：日光市教育委員会事務局生涯学習課

☎ (21) 5182

担当：湯澤・福田

FAX (21) 5185